

やまめ

題字：尾方 芳郎氏

議長年頭挨拶
12月議会定例会
決算認定
臨時議会
一般質問
視察研修

表紙：高野橋から望む榊形山

議長年頭挨拶



五木村議会議長
西村久徳

村民の皆さま

明けましておめでとうございます

お元気で輝かしい新年をお迎えられたことと

お慶び申し上げます

年頭に当たり、五木村議会を代表
しまして、ご挨拶を申し上げます。

日頃から、皆さま方には村政発展
のため、色々のご指導、ご鞭撻、ご
助言を賜り、厚く御礼申し上げます。

国では安倍政権のもと「地方創生」
と銘打って、東京一極集中を解消し
地方の活性化と農山村の人口減少に
歯止めをかける目的で全国各地で、
その対策が今、展開されております。

本村では長年、川辺川ダム建設問
題を抱えた中、少子高齢化や若者の
雇用の場の確保など様々な課題が山
積しており、昨年十月には「五木村
まち・ひと・しごと創生総合戦略」
が策定されております。

国の推計では四十五年後の二〇六
〇年で、本村の人口は約二二六人に
なると言われており、この数値を打

開するため総合戦略が策定されたわ
けてございます。

しかしながら、本村の人口減少は
皆さんもご承知のとおり、川辺川ダ
ム建設により急激な人口減少を招き、
現在の五木村になっています。

昨年八月末には、九回目の「五木
村の今後の生活再建を協議する場」、
いわゆる、国・県・村との三者協議
が開催されました。この協議の場で、

私たち議会として、原因者である熊
本県に今までやってきた施策につい
て検証するよう求めております。皆
さんにも昨年にアンケート調査が
あったと思いますが、この結果如何
においては、抜本的な見直しをする
よう、強く要望しておりますので今
後も追求していく所存でございます。
皆様におかれましても、議会に対

し忌憚のないご意見やご提言をいた
だき、開かれた議会、行動・実践す
る議会を目指す所存でありますので、
今年もどうか、よろしくお願い申し
上げまして、最後になります。村民
の皆様方のご健勝とご多幸を切にお
祈り申し上げます、年頭のご挨拶とい
たします。



12月定例会 こんな事が決まりました

一般会計補正予算及び特別会計

補正予算(4件)計5議案否決!!

平成27年度第4回定例会が、12月9日から11日までの3日間の会期で開催し、「条例の制定1件」「条例の一部改正3件」「指定管理者の指定1件」「平成27年度一般会計補正予算1件」「平成27年度特別会計補正予算4件」の計11案件が上程され、審議の結果、一般会計補正予算と特別会計補正予算の計5議案を否決し、条例等の議案6件については、原案のとおり可決しました。

一般質問では、6人が村政について質問し、また、9月定例会で特別委員会に付託されていた「平成26年度五木村歳入歳出決算認定」については、委員会からの意見を付し、認定しました。(関連記事4ページ)

《条例の制定》

○五木村行政手続きにおける特定の個人を識別する為の番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報情報の提供に関する条例
マイナンバー制度に伴う条例の制定

《条例の一部改正》

○五木村税条例の一部改正
地方税法施行規則等の省令公布に伴う条例の改正
○五木村保育所設置に関する条例の一部改正

障害を持つ児童受け入れを緩和する条例の改正

○五木村介護保険条例の一部改正
マイナンバー制度に伴う条例の改正
○指定管理者の指定

指定期限の更新に伴う管理者の指定

・施設・五木村診療所
・指定管理者・独立行政法人

地域医療機能推進機構

人吉医療センター(旧人吉総合病院)

・指定期間・平成28年4月1日(平成33年3月31日)

平成27年度五木村一般会計補正予算(第5号)の否決理由

今回、一般会計補正予算が否決されました。理由としましては、過疎対策事業債(過疎債)の増額や道路改良事業の減額によるものでした。

この過疎債は国からの借金であり、今までは多くても2億円から3億円で推移しておりましたが、平成27年度当初予算において、水没予定地公園整備事業(約5億円)、道路改良事業(約1億円)、その他(1億8千180万円)の計7億1千8百80万円が計上され、反対する意見もありましたが、昨年3月定例会において賛成多数で可決されておりました。

しかし、今回の補正予算で5千850万円がさらに増額され、合計で7億7千730万円になり、あいまって、村道改良事業が国の補助金の内示が減額されたことを理由に大幅な減額がなされ、また「水没予定地公園整備と歴史文化交流施設(資料館)との関わり合いを検討すべき」と議会からの指摘を受けたとの理由で、水没予定地公園整備事業(約7億円)を大幅に減額し、その事業費が歴史文化交流施設へ移り変わりました。

本年度4月から約9ヶ月の間に議会の納得いく説明もなまま、この「大事業群」が変更されたことも理由の一つに挙げられます。

執行部の説明では、「過疎債は12年間で返済していくが、その7割が地方交付税に算入され、後年度に交付される。残りの3割は熊本県振興交付金を充てるので、本村の負担は実質0円である」とのことでした。

ただ、この過疎債は村の借金に変わりはなく、公債費比率(注1)という財政指標により、将来、本村で借りられるお金が制限される可能性もあり、将来的な負担を考慮して、全会一致で否決となりました。

なお、一般会計補正予算を否決したことにより、関連した特別会計補正予算(4件)も否決されました。

(注1) 公債費比率とは(要約)

元利償還金(元金+利子の返済額)を標準財政規模(本村が必要とする予算規模)で割った数値で、家庭に例えるとローン等の返済額を1年間で必要な生活費で割った比率になります。

これでいいのか再建事業

昨年9月定例会に付託されていた決算認定審査特別委員会を10月14日、11月9日、12月3日の3回開催し、平成26年度一般会計決算1件と特別会計決算9件の計10件について、審議を行いました。第1回目は議員間で決算書の内容を確認し、疑義を生じる点や関係資料の提出を執行部に求め、第2回目は村長以下、各課長の出席のもと、平成25年度決算認定時に指摘をした事項について、改善経過の説明を求めたあと、平成26年度の主要施策の成果の質疑を行い、各委員からの意見を聴取しました。第3回目は各委員の意見を取りまとめ、12月11日の定例会最終日に下記5項目の指摘事項を付し、全会一致で認定しました。

(委員長：田山淳士・副委員長：早田吉臣・委員：ほか全議員)

平成 26 年度歳入歳出決算額

会 計 名		収 入 済 額	支 出 済 額	差 引 残 額
一 般 会 計		40 億 6,481 万円	38 億 7,239 万円	1 億 9,242 万円
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	1 億 7,469 万円	1 億 6,897 万円	527 万円
	ダ ム 対 策 事 業	1,119 万円	1,119 万円	0 万円
	簡 易 水 道 事 業	2,265 万円	2,215 万円	50 万円
	農 業 集 落 排 水 事 業	1,248 万円	1,210 万円	38 万円
	介 護 保 険	1 億 9,974 万円	1 億 8,455 万円	1,519 万円
	代 替 地 上 下 水 道 事 業	1,516 万円	1,460 万円	56 万円
	後 期 高 齢 者 医 療	2,162 万円	2,141 万円	21 万円
	墓 地 公 園	23 万円	18 万円	5 万円
	情 報 通 信 事 業	3,241 万円	3,235 万円	6 万円
	計	4 億 9,018 万円	4 億 6,750 万円	2,268 万円
合 計		45 億 5,550 万円	43 億 3,990 万円	2 億 1,560 万円

※ 千円以下四捨五入のため、合計額は必ずしも一致しない。

意見及び指摘事項

(1) 村再建に向けた取り組みについて

「働く場づくり」を念頭に若者が定住できる施策に重点を置き、定住にあつては、努力目標値を年度ごとに設定し、効果のある更なる取り組みをさせたい。

(2) 住民及び各種団体への補助金・助成金について

昨年度意見にも付しているところであるが、効果を分析し「継続」「見直し」「廃止」を検討されたい。

(3) 歳計剰余金について

地方自治法及び地方財政法の規定に則り、歳

計剰余金については、基金への積立をさせたい。

(4) 経常収支比率について

普通会計において経常収支比率が平成25年度の78・9%に対し、平成26年度は92・2%となっており、13・3%も悪化し、硬直化している。今後も普通交付税の減少傾向が続くと考えられることから経常経費の削減に努められたい。

(5) 椎茸生産団地化事業について

生産目標を設定し、年度ごとの目標数値を示されたい。



一般会計総額 3億4,506万8千円を減額!!

平成28年第1回臨時議会が平成28年1月15日に開催し、「承認2件」
 「条例の制定1件」「平成27年度補正予算5件」計8案件が上程され、
 審議の結果、原案どおり可決しました。

今回は、昨年12月定例会で否決された「一般会計補正予算」が
 焦点でしたが、議会が否決した要因の一つであった過疎対策事業
 債（過疎債）も4億2,940万円が減額された結果、全会一致で
 可決となりました。

承認

■専決処分（平成27年一般会計補正
 予算）

先の定例会で否決した予算中、緊
 急を要する予算を補正したもの
 （中学生の海外研修予算等）

■専決処分（五木村税条例の一部改
 正）

マイナンバー制度に係る条例
 の改正

条例の制定

■五木村山村活性化協議会運営資金
 貸付条例の制定

五木村・森林組合・林業研究クラ
 ブ・森林づくり推進協議会で構成
 される本協議会に、限度額700
 万円を無利子貸付

会計別補正額一覧

会計名	補正前の額	補正額	計
一般会計	40億2,512万0千円	△3億4,506万8千円	36億8,005万2千円
特別会計	国民健康保険	291万6千円	2億491万0千円
	簡易水道事業	88万8千円	4,523万0千円
	介護保険	405万6千円	2億1,901万6千円
	情報通信事業	128万6千円	4,337万9千円

一般会計の主な補正額

《歳入》

項目	補正前の額	補正額	計
地方交付税	11億2,695万0千円	4,821万4千円	11億7,516万4千円
国庫支出金	5億6,850万0千円	△7,099万7千円	4億9,750万3千円
過疎対策事業債	7億1,880万0千円	△4億2,940万0千円	2億8,940万0千円
災害復旧事業債	2,100万0千円	5,780万0千円	7,880万0千円

《歳出》

事業名等	補正額
減債基金積立金	△1億2,088万3千円
水没予定地公園等整備工事他（企画費）	△7億859万5千円
地方バス運行等特別対策補助金	1,697万9千円
竹の川・小原地区水道施設改修工事	△1,500万0千円
造林作業道開設補助金	553万9千円
山村活性化協議会貸付金	700万0千円
村道松尾野線他改良工事（道路新設改良費）	△8,325万7千円
村有林素材生産事業（間伐）委託料	704万0千円
歴史文化交流施設建設関連（委託・工事費等）	3億9,169万8千円
林道災害復旧費	1億2,630万0千円
村道災害復旧費	1,003万2千円



山本 豊 議員

村長3期目の就任は

和田村長 各種の事業を着実にやっていく

山本議員 村長3期目で「小さな村でも光、輝く地域づくり」を地方創生事業を活用しながら、基本構想の現に向けた「五木村生活再建計画」や「ふるさと五木村づくり」計画を着実に進めると述べておられる。就任にあたっての施策の考えを伺いたい。

事業、各種の事業を着実にやっていきたい。

全員協議会で相談をし、提言を求めていきたい。

報告・連絡・相談について

質問 村長3期目、本村にとっても重要な期間でもあり、行政執行には各課からの報告、連絡、相談が重要になってくるが、基本構想に向け、今後どのような体制で、報告、連絡、相談を充実されるか。

和田村長 1期目、2期目を振り返りながら、3期目については、国、県の支援を受け、社会総合整備計画、ふるさとづくり計画を活用しながら、さらに地方創生

村長 庁内はいろんな提言、文書、個別的に報告を受けている。議会等に対しては、



基本構想と基本計画



和田村政3期目の政策について

和田村長 充分な目的達成の振興を図る



岡本精二 議員

無投票当選について

岡本議員 無投票で3期目の当選を果たされたが、2期、3期連続の無投票当選をどのように受け止められておられるか。

和田村長 いろんな思いはあるが、結果として無投票であった。全ての方々に信任されたとは思ってはいない。ご批判を頂く方も有権者の中にはおられるのも事実であり、謙虚に受け止めて行政執行にあたっていきたい。大きくは村の振興をどうしていくのかであり、それを考えているところである。

村長 当然の事で村民の方々のご意見を聞く機会はある。いろいろなご意見を賜ったので、3期目の村政執行に当たりたいと思う。

3期目について

質問 3期目の村長就任後の臨時議会において「2期目と大きく変わる政策をとる思いはない」と言われたので、私なりに和田村長1期就任後の平成20年度から平成26年度までの決算額等の別紙資料を見て頂きたい。その中で20年度の決算額は約18億円も増えた。7年間に投資された額が約88億円であるが、どのような効果が出ているのか、検証され

ているのか。

村長 基本構想に基づき、いろいろな事業を計画し効果が出るように実施してきたが、残念ながら、人口減少、特に山間地域においての急激な人口減少、五木村においてはダムによる急激な人口減少が起こったところである。しかしながら立ち直るべく、より良い方向に進むことが一番大事ではないかと思っ

認識している。財源の手当てが付けば、出きるだけ早くやりたい。

防災行政無線のデジタル化について

質問 現在の防災行政無線のデジタル化へ切り替える考えはないか。

村長 防災行政無線の必要性は

平成20年度からの決算や人口動態の状況 (単位:千円・人・%)

項目	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	備考
決算額	2,086,996	2,709,975	3,518,971	2,496,566	3,838,181	3,979,035	3,872,390	
投資的経費	547,612	889,013	1,666,433	736,839	1,390,736	1,776,672	1,845,896	
補助費等	200,005	250,255	398,418	271,660	338,099	361,020	481,599	
村税	219,865	211,015	208,477	210,501	191,453	197,289	228,923	
県振興交付金(ふるさと交付金)		43,628	63,315	137,312	105,387	145,446	102,398	上段: 事業費
県振興交付金(再建計画)		31,232	44,843	120,341	90,592	133,610	95,400	下段: うち交付金
人口	1,410	1,380	1,337	1,338	1,262	1,241	1,208	
高齢者人口(高齢化率)	566(40.1)	559(40.5)	542(40.5)	541(40.4)	544(43.1)	551(44.4)	543(45.0)	65歳以上
生産年齢人口	721	709	684	700	625	596	575	15~64歳
年少人口	123	112	111	97	93	94	90	14歳以下

* 人口動態にあつては、各年度末(3月31日現在)



岡本 正 議員

水没予定地の

利活用計画は見直すのか

和田村長 東部地区については、検討中である

エネルギー政策 工 について

岡本議員 宮目木谷に計画されている小水力発電所の進捗状況はどうなっているか。
藤山ふるさと振興課長 JNCの専門家に内容や調査結果を分析していただいたところ、事業費が重み採算性に無理があり、設置することは難しいとの話も出ている。一方では、多少のリスクを背負っても事業を行いたいという企業もある。現在、JNCの意見を踏まえて、安全で採算性が良い

方法はないか相談し、調査と検討を継続している。

質問 電源の供給基地ぐらゐ目指して、売電収益で各世帯の電気代の無料化や保険税、介護保険料などの負担を軽減するくらい還元しないとメリツトがないと思うが。
和田村長 宮目木だけで村民が使う電力量は全て賄えるということであるし、他にも水力発電の適地が「あるのか」「ないのか」ということもあるので、そういう検討も進めさせていただければと思っている。

観光について

質問 村が目指す将来の観光地がどういう計画で、今どこまで出来ているのか分からない。観光計画の全体像を絵で示す考えはないのか。
村長 施設整備を見据えたところで、総合的に見えないので、そういうものを作って示したいとは思っている。
質問 宿泊客を増やしたいと言われているが、宿泊施設はどうするのか。水没予定地利活用計画の予算を削ってで

水没予定地の利活用について

も造るべきと思うが。
村長 宿泊施設は、今すぐつくりたいという希望を持ちつつも、今のところ組上り上がっていないのが現状である。

質問 当初予算で計画されていたものが今回の補正予算で削減されているが、水没予定地の利活用は見直すのか。
村長 今、東部地区については、どういう形がいいか検討中であり、皆さんに説明する段階に至っていない。今回は歴史資料館の予算に重点を移したという状況である。

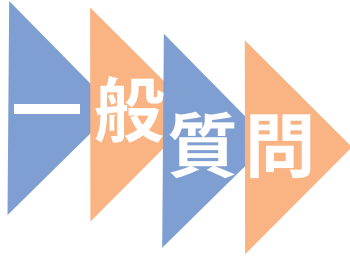
は出ているのか。せめて7月から8月は毎日やるくらいでないと効果は出てこないのではないか。
ふるさと振興課長 本年7月から料金を設定してカヤック体験の本格実施を行っている。7月から11月まで91名(内51名の村外客)の利用者があり、交流人口の拡大が図られている。

質問 本当にアウトドアをするのであれば、五木源パーク、カヤック、バンジー、キャンプ場、自転車、釣堀、ウォーキングなど組み合わせ、もつと家族や若者が1日から2日ぐらい遊べるようにしないと効果は出てこないと思う。是非、水没予定地の利活用については、投資効果があるように取り組んでもらいたいと思うが。
ふるさと振興課長 いかにも村内に留まっていたらどうか。周遊コースを考えていくことは大事で村全体の観光というところを考えていければと思っている。



今後の林業従事者の確保と育成について

和田村長 事業所の負担を少なくして 従業員の手取りを多くする



川邊正美 議員

川邊議員 林業従事者が減少し、高齢化しているが村内の林業事業所の現状と今後の従事者の育成についての取り組みは、どのように考えておられるのか。

和田村長 現状は84名の方が従事されている。一番多いのは五木村森林組合で、その中で「月給制をできるだけ、お取りください」と言うことをお願いしており、その社会保険料の2分の1を村で助成している。さらには緑の雇用に係る助成であるとか、下払機・チェーンソーなどについても2分の1の助成をしている。出来るだけ事業体の負担が小さい様な形を取って、従業員の方々の手取りを多く、負担を少なくなる様に福利厚生充実と改善を図っている。

きたい。

質問 色々な業種で全国的に生産年齢人口が減少しているが、業種によってはロボット化ということで対応できるものもあるが、林業だけは手作業が現状である。今後、担い手の育成と確保をどのようにするか伺いたい。

村長 大変難しいところで、行政がやる分野、そして各事業体で努力して頂く部分もある。行政としては色々な助成とか技術取得の研修をお願いする。究極的には木材をどう高く売っていくかということである。

質問 林業者専用住宅を3棟、建築が行われているが、入居の条件や募集期間は、いつ頃の予定か。

村長 募集については1月

の区長会を別途に考えている。出来れば共同体を組織されている所の従業員か、もしくは村外から通勤をされている方に入っていたらいいかと思う。

質問 林業者専用住宅の家賃は村営住宅に準ずるのか。

森田建設課長 今の状況で行くと1世帯当り3万円程度になる。

質問 3万円程度と言うことだが、これに対して農林課ではどれ位の手当を考えているのか。

下内農林課長 事業体が雇用するので、その事業体から住宅手当をしていただければと考えている。今後事業体と協議をやっていく。

質問 五木産材で建築された頭

地の村営住宅の入居者から住み心地について、どういう評価を受けているか。

村長 単身の方は良いという評価を受けている。家族については入居して間もないのでよく分からないという話であった。空気とか環境については今までの住居と比べて非常に良いという評価を受けているが木造ならではの問題もあるようである。



植付け作業中の作業員



田山淳士 議員

球磨一周駅伝の不参加について

和田村長 大会要綱の見直しをお願いしていきたい

田山議員 球磨一周駅伝大会は2年連続で今年も不参加と聞くが現状はどうなっているのか。

深水教育長 中学生については何とかなるが一般の方の選手の確保が出来なくて今回も参加を見送ることになった。
質問 大会前の打ち合せ協議で要綱の緩和などできなかったのか。

教育長 実施検討会があり、教育委員会の担当者が出席したが要綱については決められていた。

和田村長 恒例によって要綱

は年度当初に決まっていた。
質問 来年度は大会要綱を見直してでも、ぜひ出場できるようにしていただきたいがどうか。

教育長 活性化を図っていく必要がある。
村長 体協の方に要綱の見直しを引き続きお願いしていきたい。



五木村の力走（井元 淳選手）



今年の新春駅伝大会



球磨一周駅伝大会



消防組合の合併は

和田村長 結論に至っていない



早田吉臣 議員

早田議員 人吉球磨地域の広域連携に対しての行政の効率化、簡素化をどう考えているか。

和田村長 くま川鉄道の財政負担、クリーンプラザの延命問題などの課題解決。また、町村会の中では建設行政の入札、監督、検査それに監査事務局の統一、税務職員の連帯の強化などが可能ではないかという話が出ている。

質問 連携の事務事業を精査する部門は各市町村でもっているのか。

村長 広域連携の担当課は、まだ各町村とも未整備の状況と思う。

質問 消防力強化、緊急応援協定策で、人吉球磨地域消防力強化検討会が開催されているがどの様な状況な

のか。

村長 上球磨、下球磨消防組合で足並みが揃わず結論に至っていない。

質問 日本遺産に人吉球磨地域が認定されたが、そのストーリーを活用して観光の広域連携に本村も力を入れる思いはあるのか。

村長 熊本県の県南広域本部を中心に八代港に来るクルーズ船のお客さんをどう人吉球磨に誘客するのか話合いの最中である。

質問 町村会では地方創生の連携をおり込むという協議はなされているのか。

村長 地方創生で、一緒になった方が良いものと単独で良いものがある。青井阿蘇神社の「おくんち祭り」での企業、学校の休みの話などは出ているが、五木村

からは具体的に出してはいない。

行政のペーパーレス化 対策について

質問 行政事務の資源保護とゴミ減量化のためにパソコンやタブレット端末によるペーパーレス化の計画はあるのか。

村長 紙の使用量は増えつつあるのでペーパーレス化は必要だと思う。タブレット端末の導入には費用もかかるので経済性を見ながら検討していきたい。

質問 議員の視察研修で鳥取県日南町では昨年の3月からタブレット端末を議員及び課長級職員に対して運用を開始し効率化と経費と労力の節減が随分図られたと伺った。また専門職も必要と思うが、村での予算計上の計画はないのか。



人吉下球磨消防署 北分署 (頭地)

村長 専門職員も必要だと思う。導入をされた先進地の効果などの情報を収集しながら報告を随時行っていきたい。

質問 議会で村長の反問権はんもんについてはどう考えているのか。

村長 反問権というより少し緩めた提案の伺い程度の事は必要だと思う。

(反問権)
※質問された相手に逆に問い返すこと

島根県・鳥取県の議員行政視察研修報告

去る11月16日から18日の3日間、島根県と鳥取県へ出向き、行政視察研修を行いました。視察の目的は「子育てや定住対策に力を入れている行政」「本村と同じような規模で第三セクターを立ち上げ成功している会社」「森林資源を活かした雇用の場を確保している官民一体となった木材団地」を研修し、地元行政や議会と意見交換を行いました。

今回、各議員が感じた「一口感想」を掲載しました。

期 日：11月16日（月）

研修先名：島根県^{おおなん}邑南町

研修内容：「日本一の子育て村」を目指す取り組みについて（地方創生事業との関連）

人口等：5,007世帯、11,367人、高齢化率42.2%

概要：「日本一の子育て村を目指して」をキャッチフレーズに、子育て支援に力を注いでおり、経済的負担^{やわ}を和らげ、生活環境を整備して一つの家族が安心して子育てができるよう、医療・保健・福祉・教育・生活・環境など、様々な面から支援を行っている。



「日本一の子育て村」構想の説明
（島根県邑南町役場）

西村 久徳

町を上げて子育て支援に力を注いでおられ、子供達を安心して産み育てられる環境の整備を目指し、町づくり基本条例を制定して「明日が見る」「地域が輝く」毎年64人の人口増の基本目標を立て「出生80人」を確保し、町長以下、議会、町民全体が取組んでおられ過疎に悩む本村にとり大変参考になった。

岡本 精二

「攻めと守りの定住プロジェクト」を平成23年度に立ち上げ、その中で「日本一の子育て村」の構想と「定住促進」についてを目指された。

なぜ、日本一の子育て村を目指すのかとして、日本全体が人口減少・少子化対策・若者定住・高齢者の支え手を増やす、現状の実態を調査され、「持続可能なまち」を目指すために構想を立ち上げられた。医療・保健・福祉・教育・生活環境の各分野に支援を行い、地域とともに子育てに取り組んでおられる。

五木村においても、いろんな支援策を実施されているが、目標を定め目指していただきたいと思う。

藤本 新一

邑南町は出生率2.65と高い。広島に雇用の場を求めて、夜間の子供の急病に対する病院が整備されており、本村も若者対策として検討が必要と思う。吉田町の第3セクターは設立時から民間経営であり、バス事業、水道事業等10部門の事業を行っており、赤字部門もあるが経営は安定しており、本村の第3セクターとは発足が違う。本村の第3セクターも事業の見直しが必要と思う。

縦木 晴美

現在、どの地域も直面している課題解決にむけ^{とうほんせいそう}東奔西走している状況の中、当該地域においては成功しており、他地域からも注目されている。研修で得た知識情報を本村の目指す子育て・定住支援事業に寄与出来るよう提言提案をしていきたい。しかし、如何せん、通り一遍^{いかん}の研修であり、成功の秘訣なるものを知るには時間が足りない。問題点はそこにあるように感じた研修であった。

期 日：11月17日（火）

研修先名：島根県雲南市吉田町「(株)吉田ふるさと村」

研修内容：会社概要と経営・社員教育等

人口等：658世帯、1,839人（吉田町のみ）

概要：(株)吉田ふるさと村（第三セクター）は昭和60年4月に当時の吉田村と地域住民が出資し設立（資本金1,500万円、株主37名、従業員6人）

業務内容は、農産加工品の製造・販売、水道施設工事業、簡易水道の管理、市民バスの運行、宿泊施設の運営等。

主力商品：卵かけご飯専用醤油（おたまはん）、累計300万本の出荷本数（H14～）

現在は資本金6,000万円、従業員数69名（パート含む）

早田 吉臣

第3セクターは設立当初が重要で出資者の危機感と従業員の仕事への取り組みの情熱がうまく組み合わせられないと会社の自立経営は成り立たない。自らの給料は自らで稼ぐような心意気が必要だと感じた。

中村 俊也

多くの第3セクターが経営の維持・向上に苦心する中、堅実に業務内容や利益を伸ばしているこの会社に大きな関心を持った。

今や全国区となっている卵かけご飯専用醤油「おたまはん」を生み出し、業務内容を着実に広げ雇用を生み出している源は、熱心な社員教育にあると感じた。

積極的な意見交換の場を頻繁に開き、一人ひとりのアイデアを形にしていくことで従業員の仕事への熱意や意識を高めている取り組みは、本村の活性化にとって学ぶ点が多い。

岡本 正

人口減と高齢化などで「むら」が消滅の危機的状況にあることから、法人団体、個人が立ち上がり「雇用の場の創出」を目標に設立された第3セクターであった。社長が首長でないこと。当初から町の支援は受けない方針であったこと。業務内容が多岐にわたっているが、常に独立採算性を念頭に取り組んでいる。本村との違いは設立当初にあり、今後、社長はその道の者を据えて立直す必要があると思う。

山本 豊

日本の25年先の高齢化社会に行く雲南市。様々な課題に対し、前向きにチャレンジする人が生まれ少しずつ成果を生み出している。雲南市は子供、若者、大人による3つのチャレンジを市民みんなで支えあい、いきいきと暮らせる魅力ある町づくりに挑戦をされている。本村も村民の幸福度が増す課題解決型の実現に向け、執行部に提案したい。



(株)吉田ふるさと村からの概要説明
(島根県吉田町)



商品の出荷に追われる社員たち
(株)吉田ふるさと村)

期 日：11月18日（水）

研修先名：鳥取県日南町

研修内容：森林資源活用と木材団地

人口等：2,169世帯、5,110人、高齢化率48.1%

概要：「創造的過疎の町」への挑戦をキャッチフレーズに森林資源の活用、空き校舎の再利用、空き家バンクによる移住定住や「空き家条例」を制定し、生活環境保全・防犯防災対策、保小中一貫教育による連携、タブレット端末を利用した議会改革等を展開している。



行政・議会との意見交換
(日南町役場)

期 日：11月18日（水）

研修先名：(株)オロチ「日野川の森林木材団地」(日南町)

研修内容：設立：平成18年

資本金：9,400万円

(株主：430名)

従業員：約70名

24時間体制で稼働

人口等：町が国の補助を受け、約1億4千万円で、設立・施工。

・敷地面積152,453㎡

・年間約4万㎡を消費

概要：【事業内容】

・単板積層材「構造用LVL・造作用LVL」の製造・販売

・木質バイオマスの利活用技術の研究・開発等

・建築工事全般に関する企画・設計・施工管理・請負

・GIS等を用いた空間データ基盤の整備・構築及び賃貸・販売

※単板積層材(LVL)とは、切削機械で木材を「かつら剥き」にし、繊維方向をすべて平行にし、積層・圧着して造られる木材加工製品。



山積みされた出荷待ちの木材製品
(株)オロチ

川邊 正美

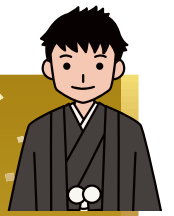
五木村の豊富な森林資源を活用するには、この会社のような施設があれば、木材の消費をはじめ、雇用対策としても大変期待できる場所である。

従来、五木村の森林から市場に搬出される木材は、A材比率が60%、残りがB材以下である。このA材以外に付加価値を付けることで、山林所有者が今まで以上に収入が上がる事が期待できる。

今後も林業で自立する村づくりに向け、情報収集に努め今後も活動を続けたい。

田山 淳士

(株)オロチは島根、岡山、広島三県境に位置し過疎化や高齢化、木材価値の低迷などで悪化してきている中、もう一度林業に元気をと木材に付加価値を付けて加工して新しい商品づくりに取り組んでいる活気あふれる会社だった。五木村もこれに近い施設を検討するべしと感じた。



新成人メッセージ 成人を迎えて



白石^{なぎさ} 汀紗さん
(頭地地区)

左はバンジージャンプに挑戦した橋本龍太さん

この度、私たち3名は、両親だけではなく、先生方、そして家族のような地域の皆様の支えがあり、無事に成人を迎えることが出来ました。成人式を終え、改めて五木村の温かさ、素晴らしいさを実感することができ、感謝の気持ちでいっぱいです。私は現在看護学生として日々、実習、勉学に励んでいます。いずれは看護師、保健師として五木村に恩返しが出来よう頑張ります。



恩師の方々との記念写真

● 議会の動き (12月～2月) ●

- 12月3日** 決算認定審査特別委員会 (全議員)
12月定例全員協議会
議会運営委員会
- 4日** 下球磨町村議会議長会正副議長・事務局長合同会議
- 9日** 平成27年第4回五木村議会定例会 (～11日)
- 17日** 人吉下球磨消防組合例月監査 (中村議員)
- 21日** 例月監査 (岡本監査委員)
12月定例郡議会議長会及び正副議長・事務局長合同会議
- 25日** 人吉球磨広域行政組合議会定例会 (田山・山本議員)
- 1月3日** 平成28年五木村成人式 (全議員)
- 5日** 平成28年五木村消防団出初式 (全議員)
- 6日** 1月定例全員協議会
広報委員会
- 13日** 人吉下球磨消防組合例月監査 (中村議員)
- 15日** 平成28年第1回五木村議会臨時会
広報委員会
- 18日** 1月定例郡議会議長会議
- 21日** 広報委員会
- 22日** 経済常任委員会
- 26日** 例月監査 (岡本監査委員)
- 2月3日** 2月定例全員協議会
- 6日** 岩井 實氏旭日双光章受章祝賀会 (議長)
- 10日** 郡町村議会議員研修会 (全議員)
- 12日** 2月定例郡議会議長会及びJAとの意見交換会
- 16日** 県後期高齢者医療広域連合議会定例会 (議長)
- 17日** 県町村議会議長会定期総会 (～18日)
人吉下球磨消防組合例月監査 (中村議員)
- 18日** 瀬目トンネル工事安全祈願祭 (議長)
- 23日** 例月監査 (岡本監査委員) ～24日
郡議会議長会海外視察研修 (議長) 台湾 (～26日)
- 25日** 人吉下球磨消防組合全員協議会及び定例会 (中村議員)

シリーズ たから

五木村の宝

=小原、梶原、下梶原= Vol.18



梶原の太鼓踊り



小原の吊り橋



奥に見えるのは下梶原体育館

頭地から北東に約20km、標高750mに位置すると、ふうこうめい梶原地区は風光明媚なところであり、初めて訪れる人々も驚くことである。集落はひっそりした佇まいを見せ、古い香りが漂うものを感じさせてくれる。この地には古来より「梶原の太鼓踊り」が代々、受け継がれており、毎年、盆行事として三日三晩、決められた場所おとこで厳かな雰囲気の中、踊られる。しばらくは途絶えていたこの踊りも地元有志のご努力で最近復活させ、子守唄祭りで披露されている。

昔は梶原地区から下梶原へ向かうのに尾根伝いに往来されていたが、現在は林道空舎線を通れば、県道五木湯前線に出なくても行くことができる。県道を梶原川の上流に向かうと小原地区がある。梶原川に掛かる吊り橋を渡ると集落がある。以前は古びた吊り橋であったが、現在は頑丈な吊り橋に架け替えられた。自動車は通れず、集落は静寂に包まれ、ひっそりとしている。県道をさらに上流へと進むと下梶原地区に入る。村の最北東部に位置し、標高も1,000mほどになる。頭上には高さ1,508mで村最高

峰の高塚山があり、その8合目あたりを大規模林道が南北に貫いている。当地区には平成7年3月に三浦小下梶原分校が休校となり、平成18年3月に廃校となった。また、五木一中下梶原分校もあったが平成7年3月に村内の中学校が統合され、廃校となった。学校があった地区から分岐する道路は、高塚山の方面が村道白蔵線となり、大規模林道方面へは林道日当線となる。紅葉時期には見事な景色を披露してくれる。今号でこのシリーズは終了となります。ご愛読ありがとうございました。筆者 敬具

編集後記

新年早々、体調不良に陥ってしまった。常々、健康には気を配っていたつもりだったが全くの不覚であった。いつ何が起きるか分からないのが「人生」だそう。だ。「備えあれば憂い無し」とは、よく言うが、現政権が進めている備えは、些か行き過ぎるような感ずるのは、私だけだろうか。いつ何時、誰かが、或いは何者かが襲って来るのでは、等と考えながら生活を強いていたなら、それこそ神経を休める事が出来ずに、どこかが壊れて仕舞いかねないのでは、それより、それ以前の努力による防備で、何ものにも、負けない体力作りが必要だと思えた年明けであった。

h・m



つばき

次回の定例会は3月中旬の予定です。皆様の傍聴をお待ちしております。